

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 4 月 3 日 (2014.4.3)

【公表番号】特表 2013-519691 (P2013-519691A)

【公表日】平成 25 年 5 月 30 日 (2013.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2013-027

【出願番号】特願 2012-553159 (P2012-553159)

【国際特許分類】

C 0 7 G 1/00 (2011.01)

C 0 8 H 7/00 (2011.01)

D 0 1 F 9/17 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 G 1/00

D 0 1 F 9/17

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 13 日 (2014.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

64.5 質量 % 以上の炭素含有量を有するリグニン誘導体。

【請求項 2】

66.5 質量 % 以上の炭素含有量を有する、請求項 1 に記載のリグニン誘導体。

【請求項 3】

68.5 質量 % 以上の炭素含有量を有する、請求項 1 に記載のリグニン誘導体。

【請求項 4】

69.5 質量 % 以上の炭素含有量を有する、請求項 1 に記載のリグニン誘導体。

【請求項 5】

0.45 mmol / g 以上のアルコキシ含有量を有する、請求項 1 に記載のリグニン誘導体。

【請求項 6】

約 67.5 質量 % ~ 約 75.5 質量 % の炭素含有量を有する広葉樹リグニン誘導体。

【請求項 7】

約 66.5 質量 % ~ 約 80.0 質量 % の炭素含有量を有する針葉樹リグニン誘導体。

【請求項 8】

約 64.5 質量 % ~ 約 75.5 質量 % の炭素含有量を有する一年生植物繊維リグニン誘導体。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のリグニン誘導体を含む炭素繊維組成物。

【請求項 10】

炭素繊維における請求項 1 に記載のリグニン誘導体の使用。

【請求項 11】

炭素繊維の製造方法であって、以下の工程、

a バイオマスを収集する工程、

b 請求項 1 に記載のリグニン誘導体を抽出する工程、

- c 繊維を溶融紡糸する工程、
 - d 繊維を安定化する工程、及び
 - e 繊維を炭化する工程、
- を含む方法。